

アレルギー歴を考慮した処方提案

プレアボイドとは薬学的ケアから患者の不利益（副作用、相互作用、治療効果不十分など）を回避あるいは軽減した事例を意味します。今回は、アレルギー歴を考慮した処方提案を行うことでより安全な医療の提供に貢献できた事例のプレアボイドを紹介いたします。

患者背景

▶両側性形成不全性股関節症に対して手術予定の患者。
初回面談時の聞き取り調査にて。

【処方】スルバシリン静注用 1.5g 1日1回 1回 1.5g

〇さん



薬剤師: アレルギーはありますか？

〇さん: 以前にピロリ菌の除菌をしたときに蕁麻疹が出たことがあります。もう3年も前なので、その時のお薬手帳は持って来ないんです。

薬剤師: そのときは治療を続けられましたか？

〇さん: はい。軽い蕁麻疹だったので、治療を継続してピロリ菌の除菌は完了しています。

薬剤師: なるほど。わかりました。ありがとうございます。

〇さん: ピロリ菌除菌で使うアモキシシリンは、〇さんが術後使用予定のスルバシリンと同じペニシリン系の薬剤だ！



〇さんの術後の抗菌薬についてご相談があります。3年前、ピロリ菌の除菌療法を行った際に蕁麻疹が起こったことがあるそうです。今回、術後使用予定のスルバシリンと同じペニシリン系抗菌薬で蕁麻疹が起こった可能性も考えられますので、スルバシリンは避けた方がよいと考えます。



医師: なるほど。では薬剤を違う系統のものに変えましょう。ありがとうございます。



アレルギー歴を考慮した処方提案を行うことでより安全な医療の提供に貢献できた。